

効果的な技術移転の進め方 (3)

～作業指導書 (SOP) の作成と技能指導の実際～

開催日時	未定
会場	未定
参加対象	開発途上国において、技術移転を担当する者
使用する手法	CUDBAS (チャート作成編、能力マップ作成編、研修プログラム作成 実践編)
配布テキスト等	CUDBAS Basic Seminar テキスト、CUDBAS Manual
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術移転を効果的に実施する方法を検討します 2. 技能伝承の課題と評価について検討します 3. SOP 作成を演習します 4. SOP を活用した技能及び関連知識の評価を演習します 5. 実際に現地で作成し、技術移転に活用した SOP の実践事例を紹介します

はじめに

JICA 専門家や青年海外協力隊 (JOCV)、JICA シニアボランティア (SV) などが海外技術協力の現場で向き合う問題は、指導したにもかかわらず、指導対象者 (CP) の習得に予想以上の時間が費やされることも一つに挙げられる。

指導方法は集団の場合の実習や個人への OJT を想定した展開がある。いずれにしても、指導後の自己練習 (SJT: Self Job Training) を効果的に行うための教材提供が重要である。さらに、CP が指導者である場合は、その教材作成の指導も専門家の役割となる。

特に JICA 業務実施型プロジェクトの場合、専門家が現地に不在時期が多くなる場合もあるため、この期間を SJT に割り振るためにも効果的な教材が不可欠である。ここでは、技術移転教材として、SOP (Standard Operating Procedure) の作成方法とその活用について演習を介して学習する。

本セミナーは TMC 概念図の③訓練準備及び④訓練の実施に該当する。



プログラム

<ol style="list-style-type: none"> 1) TMC の概要とコースの位置づけを理解する <ul style="list-style-type: none"> ・導入 (0.5 時間) 2) SOP 作成演習 (2.5 時間) 3) SOP を使った技能評価方 <ul style="list-style-type: none"> ・技能テスト採点表作成演習 (1.0 時間) 4) SOP を使った知識評価 <ul style="list-style-type: none"> ・テスト問題作成法 (1.0 時間) 	<ol style="list-style-type: none"> 5) まとめ及び Q&A (1.0 時間) <ul style="list-style-type: none"> ・SOP の技術移転への活用事例紹介 <ol style="list-style-type: none"> a. スーダン：村落助産師再教育研修教材 b. コンゴ民：警察研修教材 c. コンゴ民：溶接訓練のコース標準化の教材
---	---

講師

久米篤憲 職業教育開発協会

○略歴

- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) が設置する職業訓練施設にて、27 年間に渡り機械科指導員として勤務。
この間、中卒 2 年訓練、高卒 2 年訓練、企業在职者を対象とした能力開発セミナー、求職者を対象とした 6 か月間のアビリティ訓練コースなどを担当。更に、独立行政法人国際協力機構 (JICA) の専門家派遣として、ネパールへ 1988 年から 3 年間 (個別：機械科)、フィリピンの職業訓練向上プロジェクトへ 1996 年から 3 年間 (カリキュラム及び教材開発)、ヨルダンにある国連パレスチナ難民救済機関 (UNRA) の教育局本部へ 2001 年から 3 年間 (個別：訓練管理)、2007 年にブーダンへ 2 か月間 (2 回 = 計 4 か月間) 職業訓練アドバイザーとして職業訓練分野の国際協力に従事した。

- ・2008 年 4 月に株式会社 PASC を設立、以後、職業訓練や警察学校などの 10 以上のプロジェクトに参加。

- ・2018 年に一般財団法人職業教育開発協会理事。

○専門および得意な分野

専門分野は、指導員の現役時代は金属加工 (旋盤、フライス盤など) 及び企業の教育体系構築や運営など企業支援 (能力開発セミナーや事業内援助事業)。PASC 設立後は、主に国際協力現場における職業訓練運営管理サイクル (TMC: Training Management Cycle) を核にした技術協力プロジェクトでの技術移転 (主に訓練カリキュラム開発、教材開発、教授法など)。また、国内では JICA 横浜訓練センターにおける外国人研修講師、民間企業への企業内教育の進め方のコンサルタントとして活動。

お問合せ・申込み先

jigyobu@vedac.or.jp までお問い合わせください。

会場のご案内

調整の上、決定いたします。

お申込みに際しての確認事項

調整の上、決定いたします。

受講料もご相談に応じて決定いたします。

一般財団法人 職業教育開発協会のご案内

○事業内容

職業教育手法の開発及び応用に関する研究。職業教育手法のファシリテーター資格及びマスタートレーナー資格の認定。職業教育手法に関するセミナー、年次研究大会、講演会、展示会等の開催。職業教育手法関係書籍の収集及び学習支援。職業教育手法に関係する団体との協力的事業。職業教育手法に関する書籍、雑誌等の刊行。職業教育手法に必要な資材、ソフトウェア等の製作及び販売。その他、当法人の目的達成に必要な事業。

○所在地

〒297-0201 千葉県長生郡長柄町上野 481-12-502

○設立

平成 30 年（2018 年）7 月 30 日

○URL: <http://vedac.or.jp/>

効果的な技術移転の進め方(3)

～作業指導書（SOP）の作成と技能指導の実際～